真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2022/11/1

No.696

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

変わりゆく時代社会の中で

武宮　信勝

大阪教区内は、各別院をはじめ多くのお寺が報恩講をお迎えしています。当別院では、おかげさまで過日報恩講が厳修されておられました。好天にも恵まれ、ご参拝の御門徒が喜んで聴聞されておられたお姿に、あらためて頭が下がります。また、宿願でありました「報徳会」には音楽法要が営まれ、御堂一杯に仏教讃歌が響き渡り如来さまのお浄土が荘厳されたことに、感無量でした。報恩講円成にあたり、御本山からの御参向をはじめ、参勤法中並びに関係各位に心から御礼申し上げます。

さて、季節は晩秋へと移り紅葉の名所には、コロナ禍では見られなかった多くの人出が予想されているようです。私が以前「総会所」教導（今は本廟教化教導）を拝命されていた時、特に11月の土・日には、本廟収骨に来られる方が沢山おられた。時にはあの広い阿弥陀堂一杯になる中で本廟法話をしたことが数度あった。担当職員の方に、「なぜこの時期、収骨者の方が多いのですか？」と尋ねたら「やはり京都の紅葉名所見物を兼ねておれるのでしょうね。」と答えておられた。亡くなった人の収骨も大事だけど、御本山に行くなら、癒しを兼ねた紅葉の時期がいいということでしょうか。

しかしながら、近年満堂になるような参拝者の光景がなくなったと聞く。今日のめまぐるしく変化する時代社会のひずみの一つに、ますます孤立する人、孤独な人が増え続けています。先の見えないことから生きていることの不安や、苦悩にさいなまれ続けていると言っても過言ではない。悲しいことだが自分の事だけに精一杯になり、周りの人々にまで目が向けられなくなりつつある。ましてや亡くなって逝かれた身近な人々のことまで。

したがって、葬儀も直葬化し、先達の方が大事にしておられた月参り、年忌法要も廃止。

亡き人の遺骨をいだいて御堂一杯の参拝者とは言えないにしても、今このような時期だからこそ、「南無阿弥陀仏　人と生まれたことの意味をたずねていこう」と呼びかけられている私に目を覚まして、標挙のごとく自分が何と愚かな者であったかを忘れていることに気づかせていただきましょう。

人と生まれた悲しみを知らないものは
人と生まれた喜びを知らない

金子大栄

この詩が、私のなかに深く突きささってくる。

法要・行事予定

１１月

４日	達如上人御祥月御命日	（８時）
１２日	闡如上人御逮夜・常永代経	（１４時）
１３日	闡如上人御命日　兼日中	（８時）
	秋の文化講演会	
	桂 坊枝 師	（１４時）
２４日	顕如上人御祥月御命日	（８時）
	定例法話	（１３時３０分）
	王来王家（おくおか） 純也師（三重員弁組 通念寺）	
	「よろこびて、ほめたてまつる」	
２６日	本山御正忌団体参拝	（８時出発）
２７日	宗祖聖人御正忌御逮夜	（１４時）
２８日	宗祖聖人御正忌晨朝	（８時）
	宗祖聖人御正忌日中	
	法話：輪番　武宮 信勝	（１０時）

１２月

５日	同朋の会（八尾別院報恩講団体参拝予定）	
１２日	闡如上人御逮夜・常永代経	（１４時）
１３日	闡如上人御命日　兼日中	（８時）
２４日	すす払い同朋の会	（９時３０分）
２７日	宗祖聖人御命日御逮夜	（１４時）
２８日	宗祖聖人御命日　兼日中	（８時）
	法話：輪番　武宮 信勝	
３１日	歳末昏時勤行	（１５時）

おあさじにお参りしましょう！！

毎朝７：４５分～８：３０頃まで
※土、日は職員による感話があります。
一人でも多くのご参拝をと、願い続けています。

親鸞さまに遇いに行きましょう

真宗本廟（東本願寺）では来る11月21日（月）から28日（月）にかけて「御正忌報恩講」が厳修されます。

別院門徒会として、団体参拝を左記の通り計画致しました。是非ご参加下さい。

記

日　程　11月26日（土）午前8時出発
集　合　天満別院　本堂
参加費　1人5000円
※詳細につきましては同封のご案内をご参照ください。

今月の伝道掲示板

腹立たば
鏡を出して
顔を見よ
鬼の姿が
徒（ただ）で
見られる
―吉崎御坊―

編集後記

11月は親鸞聖人の御祥月です。親鸞聖人は感謝ではなく報謝せよと言われています。報謝とは感謝（ありがとう）という意味で使われています。しかし本当は、恩に対して感謝し行動を伴うのが報謝の意味です。

法座の後に歌うことが多い「恩徳讃」ですが、ほとんどの方が感謝の意味だけで報謝の意味をわからずに歌っていると思います。

今年の御祥月は、報謝の意味をもう一度考えてお勤めしたいと思います。（Ｉ）

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社
（株）天満花重
〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話　(06)-6351-3875
FAX　(06)-6351-6260

～ご縁を大切に～
日下念珠店
〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325　FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp

（報恩講特集）

如来大悲の恩徳は、
身を粉にしても報ずべし、
師主知識の恩徳も
骨を砕きても謝すべし。

御参向結願日中（ご満座） お勤め

『御伝鈔』拝読〜今年は下巻〜

青年部会員による 練り出し
（御伝鈔を運んでいる様子）

沼 秋香 先生によるご法話
講題「願生浄土」

報恩講 10月3・4・5日

音楽法要 合唱団 みのりの歌声に乗せて

武宮輪番宿願の音楽法要 勤修

ちいちの華による立花様子

多くの方に参拝していただきました

臨時院議会 報告

別院では、二ヵ年にわたり中・長期事業検討委員会を重ねて来ました。この度、中間報告書を受け今後の方針について去る10月11日（火）、天満別院臨時院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

・中・長期事業検討委員会中間報告について
・駐車場運営管理委託契約書の解除（タイムズ）について
・事業用借地権設定契約の締結に向けた業者選定の件について
・今後の予定（案）について
・その他（報告事項）

全議案、全会一致で可決承認されました。

以上

※詳細につきましては後日お知らせを送付致します。

天満別院 秋の文化講演会

天満別院講堂にて左記の通り文化講演会を開催致します。

本来新年会で予定されていた落語家の桂 坊枝 師にお越しいただきます。

参加定数は、70名となりますので、定数になり次第締め切らせていただきます。

記

日時 11月13日（日）14時〜16時
場所 天満別院 同朋会館 講堂
参加人数 先着70名以内
会費 無料（全席自由）

※詳細につきましては同封のご案内をご参照ください。

桂 坊枝 師